

須恵町外二ヶ町清掃施設組合 次期ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、須恵町外二ヶ町清掃施設組合（以下「本組合」という。）が令和5年3月28日に公告した「次期ごみ処理施設整備・運営事業」の総合評価一般競争入札に係る事業者提案について、基礎審査を実施後、提案書及び入札価格について定量化審査により総合的に審査を行った。

本組合は、選定委員会による審査の結果を踏まえ、落札者を決定したので、選定委員会における客観的な評価の結果を審査講評として公表する。

令和5年11月29日

須恵町外二ヶ町清掃施設組合 組合長 三浦 正

次期ごみ処理施設整備・運営事業

審 査 講 評

令和5年11月

須恵町外二ヶ町清掃施設組合
次期ごみ処理施設事業者選定委員会

目 次

第1章 事業概要	1
1 事業名称.....	1
2 公共施設の概要等	1
3 事業期間.....	1
4 事業方式.....	1
5 事業範囲.....	1
第2章 審査方法等	2
1 入札の方法.....	2
2 最優秀提案者決定までの経過	2
3 選定委員会の設置	3
4 選定委員会の開催経過	4
5 最優秀提案者決定の手順	4
6 審査手順.....	6
第3章 最優秀提案者選定結果	9
1 資格審査.....	9
2 提案書の基礎審査	9
3 提案書の定量化審査及び提案書に関するヒアリング	9
4 入札価格の定量化審査	12
5 総合評価値の算出	12
6 最優秀提案者の選定	13
第4章 総評	14

第1章 事業概要

1 事業名称

次期ごみ処理施設整備・運営事業

2 公共施設の概要等

(1) 対象となる公共施設の種類

一般廃棄物処理施設

(2) 建設予定地

項目	概要
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町大字若杉 779 番地 18 (組合敷地内)
敷地面積	約 95,000 m ²

(3) 施設の概要

概要		
エネルギー回収型廃棄物 処理施設	処理方式	ストーカ式 (全連続燃焼式)
	処理能力	169 t / 24 h (84.5 t / 24 h × 2 炉)
	処理対象物	可燃ごみ、可燃残渣、し渣等

3 事業期間

事業期間等は、以下のとおりである。

事業期間 : 契約締結日から令和 30 年 3 月 31 日まで

設計・施工期間 : 契約締結日から令和 10 年 3 月 31 日まで

運営期間 : 令和 10 年 4 月 1 日から令和 30 年 3 月 31 日まで

運営準備期間 : 契約締結日から令和 10 年 3 月 31 日まで

4 事業方式

次期ごみ処理施設整備・運営事業 (以下「本事業」という。) は、次期ごみ処理施設 (以下「本施設」という。) の設計・施工及び運営に係る業務を民間事業者が一括して行う D B O 方式により実施する。

5 事業範囲

運営事業者が行う本事業の業務範囲は、次のとおりである。

(1) 設計・施工業務

(2) 運営業務

第2章 審査方法等

1 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。

2 最優秀提案者決定までの経過

最優秀提案者決定の経過は、表1のとおりである。

表1 最優秀提案者決定の経過

日 時	内 容
令和5年 3月 28日 (火)	入札公告（入札説明書等の公表）
令和5年 4月 7日 (金) ～ 4月 13日 (木)	現地見学
令和5年 4月 10日 (月) ～ 4月 27日 (木)	入札説明書等に関する質問受付（第1回）
令和5年 5月 11日 (木)	入札説明書等に関する質問回答（第1回）の公表
令和5年 5月 26日 (金) ～ 5月 31日 (水)	参加表明書及び参加資格確認申請書類の受付
令和5年 6月 12日 (月)	参加資格確認結果の通知
令和5年 6月 26日 (月) ～ 6月 30日 (金)	対面的対話確認事項及び入札説明書等に関する質問受付（第2回）の受付
令和5年 7月 18日 (火)	対面的対話の実施
令和5年 8月 4日 (金)	対面的対話結果及び入札説明書等に関する質問回答（第2回）の公表
令和5年 9月 7日 (木)	入札提案書類の提出日
令和5年 9月 7日 (木) ～ 10月 6日 (金)	資格審査及び基礎審査
令和5年 11月 14日 (火)	提案書に関する審査、開札、最優秀提案者の選定

3 選定委員会の設置

提案審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者等9名の委員により構成される次期ごみ処理施設事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において行った。

委員長	大塚 哲雄	篠栗町 副町長
副委員長	稲永 修司	須恵町 副町長
委員	柳瀬 龍二	元福岡大学 環境保全センター教授
委員	鳥居 修一	熊本大学 大学院教授
委員	吉武 信一	粕屋町 副町長
委員	堀 雅仁	篠栗町 都市整備課長
委員	平山 幸治	須恵町 地域振興課長
委員	吉村 健二	粕屋町 道路環境整備課長
委員	吉村 秀昭	須恵町外二ヶ町清掃施設組合 事務局長 (令和5年4月1日から)
委員	中牟田 健	須恵町外二ヶ町清掃施設組合 事務局長 (令和5年3月31日まで)

4 選定委員会の開催経過

本事業の事業者選定における選定委員会の開催経過は、表2のとおりである。

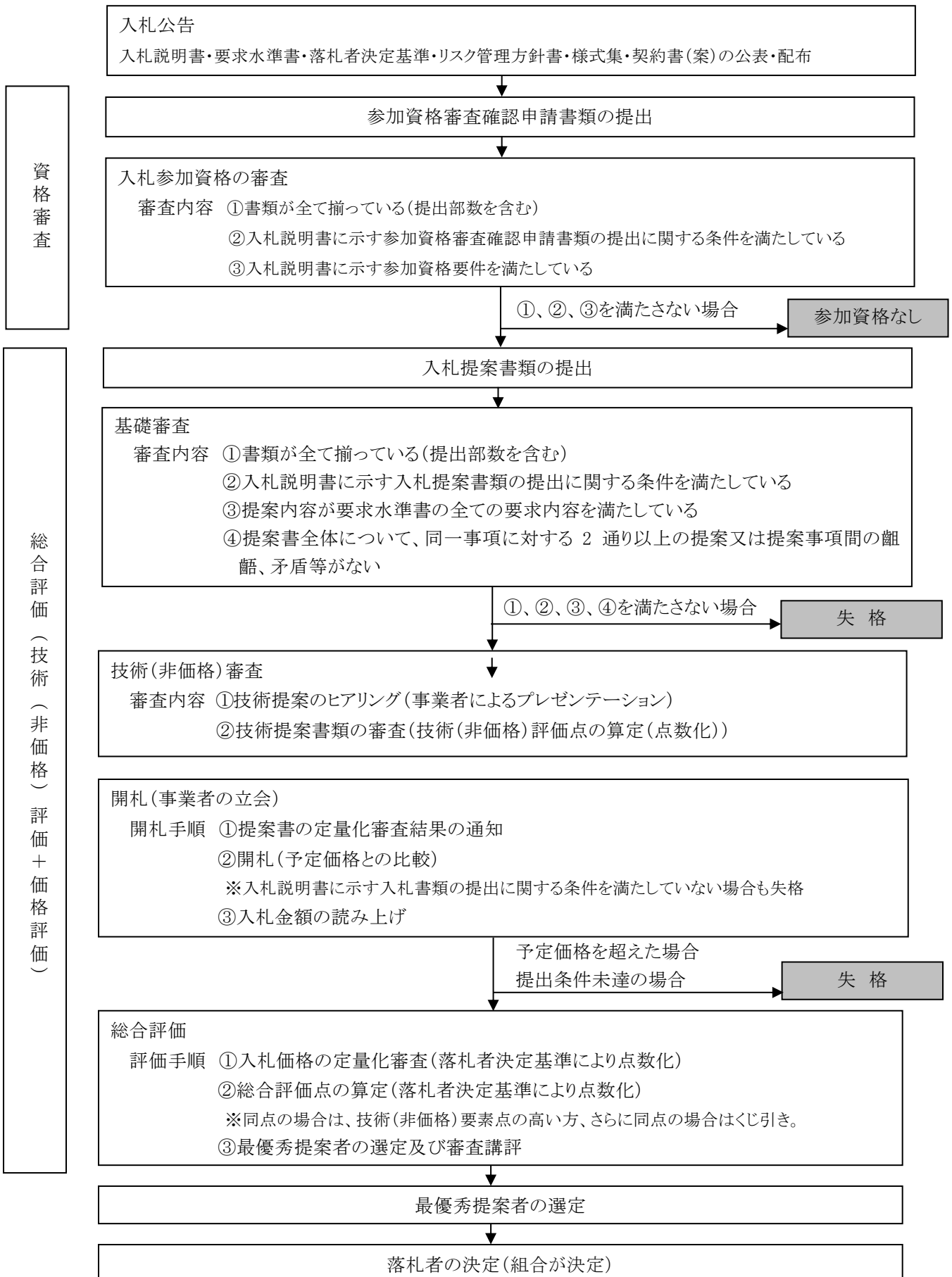
表2 選定委員会の開催経過

日付	内容
令和4年11月22日(火)	・第1回委員会開催 主な内容： ○委員会の運営、事業概要の確認、委員会の検討内容及びスケジュール、入札説明書(案)、落札者選定における評価方法等、要求水準書(案)について
令和5年1月30日(月)	・第2回委員会開催 主な内容： ○落札者選定基準書(案)、入札説明書(案)、様式集(案)、要求水準書(案)、各種契約書(案)について
令和5年3月6日(月)	・第3回委員会開催 主な内容： ○特定事業の選定、落札者選定基準書(案)、入札説明書(案)、様式集(案)、要求水準書(案)について
令和5年7月18日(火)	・第4回委員会開催 主な内容： ○対面的対話の実施
令和5年10月24日(火)	・第5回委員会開催 主な内容： ○これまでの経過、提案書類に関する意見交換、ヒアリング確認事項について
令和5年11月14日(火)	・第6回委員会開催 主な内容： ○これまでの経過及び本日の日程、提案書類に関するヒアリング、意見交換及び最終評価、技術(非価格要素)点の決定、価格要素点/総合評価点の決定及最優秀提案者決定、答申(案)、審査講評(案)について

5 最優秀提案者決定の手順

最優秀提案者決定の手順については、図1のとおりである。

図1 最優秀提案者決定の手順



6 審査手順

(1) 参加資格審査

参加資格審査は、参加表明書及び参加資格審査申請書の提出書類により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを事務局において確認する。

(2) 提案審査

ア 提案書の基礎審査

選定委員会は、提案書等に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。確認内容は、次のとおりである。

- (ア) 書類が全て揃っている（提出部数を含む）こと。
- (イ) 入札説明書に示す入札提案書類の提出に関する条件を満たしていること。
- (ウ) 提案内容が要求水準書の全ての要求内容を満たしていること。
- (エ) 提案書全体について、同一事項に対する 2 通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

イ 非価格要素の定量化審査

(ア) 審査項目及び配点

選定委員会は、表 3 に示す審査項目及び配点に対し、提案書等に記載された内容について審査する。

表3 審査項目及び配点

大項目	中項目	小項目	配点		
施設の整備・運営コンセプトの実現	安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	施設性能	・ごみ焼却システムの技術的特徴 ・ごみ処理の性能曲線とごみ量、ごみ質変動への対応	3	14
		安定稼働の実現	・主要設備のメンテナンス方法	3	
		長寿命の実現	・長寿命の実現（主要設備の耐用年数と修繕計画等） ・次期事業者への引継ぎ計画	5	
		効率的な計量	・計量の自動化、合理化 ・IT、電子決済への対応	3	
	環境負荷が少なく、循環型社会形成を推進する施設	公害防止基準の確実な遵守	・排ガスの基準を満足するための取組み ・騒音、振動、悪臭対策（設計・施工時及び運営時）	4	15
		環境保全対策	・施工中の濁水対策 ・建設時に発生する建設廃棄物量と削減策	2	
		エネルギーの有効活用等	・ごみ処理に伴うエネルギー回収率、年間売電量	5	
		環境負荷の低減	・地球温暖化対策 ・雨水利用量と具体策 ・プラント排水の下水道放流量と削減策 ・焼却残渣量の削減	4	
	地域社会に貢献できる施設	情報提供	・住民との信頼関係の確立、安心感の提供	2	6
		環境学習計画	・教育設備の設置内容と更新計画 ・環境学習の支援メニュー	4	
	災害対策	災害に強い強靱な廃棄物処理システム	・地震・台風・火事・落雷対策と設計への反映	3	6
		災害復旧支援	・本施設の復旧計画 ・災害発生時の協力内容 ・災害廃棄物受け入れ提案	3	
	事業計画	安全確保	・施工時の品質管理・安全管理 ・運営時の安全確保	3	19
		デザイン計画	・意匠・デザイン計画 ・空間・緑化計画 ・保持計画や修繕計画	3	
		配置・動線計画	・安全配置・動線計画	4	
実施体制		・人員配置及び事業の実施体制（代表企業以下の役割と責任分担及び通常時並びに緊急時の連絡体制等） ・運転管理計画	3		
事業収支計画		・安定収支計画（安定化の仕組み）	3		
地域貢献		・地元企業の活用、資材調達への協力 ・地元雇用 ・地域への社会貢献	3		
合計			60		

(イ) 非価格要素の得点化方法

- ① 提案を求めている審査項目においては、表4に示す5段階評価による得点化方法により得点を付与する。
- ② 各審査項目の評価点については、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。
- ③ ②の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

表4 技術提案に関する得点化方法

評 価	説 明	点 数
A	特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準書を満たす程度である	配点×0

ウ 入札価格の定量化審査

入札価格においては、入札価格（様式集、様式第14号に記載する金額をいう。）について、表5の算定式により得点を付与する。得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。
 なお、定量化限度額は開札時に公表する。

表5 入札価格の得点算定式

入札価格の得点算定式
<p>○最低入札価格＞定量化限度額の場合</p> $\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格評価点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \left(\frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$ <p>○最低入札価格≤定量化限度額の場合</p> $\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格評価点} \end{array} \right) = 40 \text{ 点} \times \left(\frac{\text{定量化限度額}}{\text{入札価格}} \right)$ <p>※ 最低入札価格：全入札参加者の入札価格のうち、最も低い価格。 ただし、失格になった者の入札価格を除く。</p>

エ 総合評価値の算定方法

「イ 非価格要素の定量化審査」、「ウ 入札価格の定量化審査」により算出した得点を合計して、各入札参加者の総合評価値を算出する。

表6 総合評価値の算出方法

総合評価値の算定式
$\left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \\ (100 \text{ 点}) \end{array} \right) = \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術 (非価格) 点} \\ (60 \text{ 点}) \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格点} \\ (40 \text{ 点}) \end{array} \right)$ <p>※ ()内は各得点の配点を示す。</p>

第3章 最優秀提案者選定結果

1 資格審査

令和5年3月28日に入札公告を行い、令和5年5月26日～31日に参加表明書及び参加資格審査申請書を受け付けたところ、以下の1グループから応募があった。

須恵町外二ヶ町清掃施設組合（以下、「組合」という。）は、参加資格の確認を行い、令和5年6月12日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表7 参加表明書及び参加資格審査申請書等提出グループ

受付グループ名	スギグループ
グループ名	神鋼環境ソリューショングループ
代表企業	株式会社神鋼環境ソリューション
構成員	株式会社神鋼環境ソリューション 神鋼環境メンテナンス株式会社
協力企業	大豊建設株式会社九州支店 松尾建設株式会社福岡支店 株式会社梓設計九州支社

なお、選定委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において企業名は伏せ、受付グループ名で審査を行った。

2 提案書の基礎審査

令和5年9月7日に入札参加資格を有する1グループより提案書等が提出された。

提出された提案書等をもとに基礎審査項目に沿って基礎審査を行った。提案書は、組合が要求する水準を満足していること等が確認されたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

3 提案書の定量化審査及び提案書に関するヒアリング

選定委員会は令和5年11月14日に提案書の定量化審査を行った。審査に際しては、提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

定量化審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、提案書に関する得点化を行った。なお、評価は、組合の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式である。

審査結果を表8に示す。

表 8 提案書の定量化審査の得点結果

審査項目			No.	配点	スギグループ	
大項目	中項目	小項目				
計				41	28.39	
施設の整備・運営コンセプトの実現	安んず、長期稼働で安定性に優れた施設	計	-	14	10.00	
		施設性能	・【建】ごみ焼却システムの技術的特徴 ・【建/運】ごみ処理の性能曲線とごみ量、ごみ質変動への対応	1	3	2.25
		安定稼働の実現	・【建/運】主要設備のメンテナンス方法	2	3	2.17
		長寿命の実現	・【建/運】長寿命の実現(主要設備の耐用年数と修繕計画等) ・【運】次期事業者への引継ぎ計画	3	5	3.75
		効率的な計量	・【建/運】計量の自動化、合理化 ・【建/運】IT、電子決済への対応	4	3	1.83
	計			-	15	10.67
	環境負荷が少なく、循環型社会形成を推進する施設	公害防止基準の確実な遵守	・【建/運】排ガス基準を満足するための取組み ・【建/運】騒音、振動、悪臭対策(設計・施工時及び運営時)	5	4	2.78
		環境保全対策	・【建】施工中の濁水対策 ・【建】建設時に発生する建設廃棄物量と削減策	6	2	1.22
		エネルギーの有効活用等	・【建/運】ごみ処理に伴うエネルギー回収率、年間売電量	7	5	3.89
		環境負荷の低減	・【建/運】地球温暖化対策 ・【建/運】雨水利用量と具体策 ・【建/運】プラント排水の下水道放流量と削減策 ・【建/運】焼却残渣量の削減	8	4	2.78
	計			-	6	4.06
	地域でできる社会に貢献	情報提供	・【建/運】住民との信頼関係の確立、安心感の提供	9	2	1.17
		環境学習計画	・【建/運】教育設備の設置内容と更新計画 ・【運】環境学習の支援メニュー	10	4	2.89
	計			-	6	3.66
	災害対策	災害に強い強靱な廃棄物処理システム	・【建/運】地震・台風・火事・落雷対策と設計への反映	11	3	1.83
		災害復旧支援	・【建/運】本施設の復旧計画 ・【建/運】災害発生時の協力内容 ・【建/運】災害廃棄物受け入れ提案	12	3	1.83
	計			-	19	12.36
	事業計画	安全確保	・【建】施工時の品質管理・安全管理 ・【運】運営時の安全確保	13	3	2.00
デザイン計画		・【建】意匠・デザイン計画 ・【建】空間・緑化計画 ・【運】保持計画や修繕計画	14	3	1.75	
配置・動線計画		・【建/運】安全配置・動線計画	15	4	2.78	
実施体制		・【建/運】人員配置及び事業の実施体制(代表企業以下の役割と責任分担及び通常時並びに緊急時の連絡体制等) ・【運】運転管理計画	16	3	2.08	
事業収支計画		・【運】安定収支計画(安定化の仕組み)	17	3	2.00	
地域貢献		・【建/運】地元企業の活用、資材調達への協力 ・【運】地元雇用 ・【建/運】地域への社会貢献	18	3	1.75	
合計				60	40.75	

提案書に関する各審査項目における講評は、表9のとおりである。

表9 各審査項目の講評

審査項目		講評	
施設の整備・運営コンセプトの実現	安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設	施設性能	<ul style="list-style-type: none"> ・長期の稼働実績に基づく提案がなされており、信頼性の高い処理システムが構築されている点等を評価した。 ・ごみ量、ごみ質の変動にも柔軟に対応できる炉構造の提案がなされていること等を評価した。
		安定稼働の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・基本性能の維持に向けた未然防止策、トラブル時の対応策について十分な配慮がなされている点等を評価した。 ・火災・爆発に対する事前・事後対策に関する提案がなされている点等を評価した。
		長寿命の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・長期の稼働実績に基づく、施設の長寿命化に向けた取組みや運営期間終了後の支援等が提案されていた点等を評価した。
		効率的な計量	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な計量を図るために、先進的な機能を採用するなど、取り組みに工夫がみられる点等を評価した。 ・ごみ受け入れの事前予約、料金徴収に対して効率化が期待できる点等を評価した。
	環境負荷が少なく、循環型社会形成を推進する施設	公害防止基準の確実な遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止基準を遵守するための手法、設備が提案されており、実効性が期待できる点等を評価した。 ・排ガスによる環境負荷の低減に配慮した運転基準値や要監視基準値を設定している点等を評価した。
		環境保全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・建設時の排水対策、建設廃棄物の利活用に係る具体的な提案がなされている点等を評価した。
		エネルギーの有効活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・発電量の最大化に向けた工夫がなされている点等を評価した。 ・省エネ機器と省エネプロセスの採用により、自ら課した数値目標を達成する提案がなされている点等を評価した。
		環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンシティー実現に向けた使用電力の最小化、最新技術の導入による温暖化防止策が施されていた点等を評価した。
	地域社会に貢献できる施設	情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工段階、運営段階において信頼・安心感を得るための工夫、提案等を評価した。
		環境学習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者にわかりやすい見学動線や体験を通じた学習プログラムにより興味を喚起する工夫が見られる点等を評価した。
	災害対策	災害に強い強靱な廃棄物処理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの被災経験に基づき、災害に対する設計面及び運営面における具体的な対策が提案されている点等を評価した。
		災害復旧支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続に係る具体的な手順、体制、バックアップ体制、計画的な災害廃棄物対応が提案されている点等を評価した。
事業計画	安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地の特長を踏まえた建設時における安全対策、運営時の安全管理に対する教育、体制構築に対する提案がなされている点等を評価した。 	
	デザイン計画	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境と調和した景観形成、建設予定地の特性を踏まえたデザイン計画、外観保持等に係る提案等を評価した。 	
	配置・動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・建設エリアが狭隘であることや、既存施設との連携等を踏まえた上で、安全性やごみの搬入時間を短縮する提案がなされていた。 	
	実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・実績に基づく適切な人員配置が提案されている点等を評価した。 ・充実したセルフモニタリングの実施と緊急時やトラブル時の適切な 	

審査項目		講評
		リスク管理がなされている点等を評価した。 ・バックアップ体制による事業の安定を図る点等を評価した。
	事業収支計画	・事業期間を通じて安定した事業経営が提案されている点等を評価した。 ・事業の継続性を担保するための方策及び十分な資本金が提案されている点等を評価した。
	地域貢献	・地元企業の活用と地元雇用に配慮がなされている点等を評価した。 ・地元企業への発注と地域経済への配慮、地元雇用者への充実した教育訓練が提案されている点等を評価した。 ・地域活動の支援に対する各種の取り組みが提案されている点等を評価した。

4 入札価格の定量化審査

提案書等を提出した各入札参加者及び選定委員会の立会いのもと令和5年11月14日に開札を行い、予定価格の範囲内であることを確認した。

選定委員会は、開札結果の報告を受け、入札価格の定量化審査に関する得点化を行った。得点化の結果は、表10のとおりである。

表10 入札価格の定量化審査の得点結果

項目	配点	応札額	最低価格
入札金額（税抜）	—	35,100,000,000円	35,100,000,000円
価格評価点	40点	—	40.00点

※ 入札価格（設計・建設、運營業務に係る対価）の定量化限度額：31,001,200,000円（消費税及び地方消費税額を含まない）

※ 予定価格：36,472,000,000円（消費税及び地方消費税額を含まない）

5 総合評価値の算出

令和5年11月14日に「技術（非価格）点」、「価格点」を加算して、表11のとおり総合評価値を算出した。

表11 総合評価値の算出結果

項目	配点	スギグループ
技術（非価格）点	60点	40.75点
価格点	40点	40.00点
総合評価点	100点	80.75点
最優秀提案者		スギグループ

6 最優秀提案者の選定

選定委員会は、上記の結果に基づき「スギグループ（代表企業：株式会社神鋼環境ソリューション）」を最優秀提案者として選定した。

第4章 総評

本事業は、組合が掲げる「経済性・効率性を確保した施設」「安心かつ安全で安定性に優れ、長期稼働できる施設」、「環境負荷が少なく、循環型社会形成を推進する施設」、「地域社会に貢献できる施設」、「災害に対して強靭性を有する施設」を具現化した施設整備や運営・維持管理を実施することを目指し、加えて、組合を構成する須恵町、粕屋町、篠栗町が目指すゼロカーボンシティの実現に寄与する施設を目指している。

また、本事業では、既存施設で採用してきた公設公営方式から、民間の創意工夫による提案を取り入れた良質な設計・建設業務と、安全で効率的かつ効果的な運営・維持管理業務を実施することを目的として、施設の設計・建設及び運営・維持管理を一括して事業期間を通して発注するDBO(Design - Build - Operate)方式を採用するものである。

このような背景を踏まえ、選定委員会は、総合評価一般競争入札により最優秀提案者を選定するに当たって、透明性、公平性に最大限配慮し、事業者選定のための審査を実施した。

今回、入札に参加した1グループの提案は、本事業の目的や各業務の内容について組合が要求する水準を上回る提案内容であった。提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成において多大な労力及び費用負担があったことが想定される。そうしたなかで提案をまとめた応募者の熱意及び姿勢に敬意を表するとともに、深く感謝する。

審査においては、提案書及び入札価格に対して厳正なる審査を行った結果、株式会社神鋼環境ソリューションを代表企業とするスギグループを最優秀提案者として選定するに至った。

スギグループの提案については、「エネルギーの有効活用等」、「施設性能」、「長寿命の実現」が特に高く評価された。

選定委員会の審議において、上記の事項を評価する一方で、スギグループの提案内容に対して、以下に示す配慮・要望事項が挙げられた。

- ① 事業期間にわたって、要求水準事項及び提案事項を確実に履行すること。特に提案書に関するヒアリングでの確認（懸念）事項や依頼事項については、設計段階で有効な対処方法を提案するなど、組合と誠意をもって協議すること。
- ② ごみ量、ごみ質の変動や処理不適物等の混入に対し、柔軟な対応に努めること。
- ③ ゼロカーボンシティの実現は組合構成3町共通の目標であることを十分理解し、省資源、省エネルギー、発電量の最大化に取り組むこと。
- ④ 事業期間を通じて、地域貢献、地元雇用に関する提案の実現及び更なる拡大に努めること。
- ⑤ 運転、維持管理については、要求水準事項の達成に十分配慮した上で効率化を図り、費用の低減に努めること。
- ⑥ 効率的な計量方法の提案に基づき夜間収集、昼間収集を円滑に行うとともに、直接搬入や予約なしのごみ搬入に対し、柔軟にまた住民目線で丁寧な対応を行うこと。
- ⑦ 環境学習計画の提案については、興味をそそるものがあった。確実な履行と時勢を捉えた定期的な改善に努めること。

最後に、事業期間を通じて組合とスギグループが良きパートナーとなり、地域との信頼関係を築きながら本事業を計画的かつスムーズに推進することを希望する。また、配慮・要望事項について、入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。

令和5年11月

須恵町外二ヶ町清掃施設組合 次期ごみ処理施設事業者選定委員会 委員長 大塚 哲雄